

2015年4月9日

2015年5月期 第3四半期 決算概要

- エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)など多くのセグメントが増収となり、売上高は169,185百万円(前年同期比+9.2%)
- 売上総利益はプレース&サーチ(人材紹介)やエキスパートサービスの増収、インソーシングの粗利率向上などが寄与し、増益
- M&Aや変則決算※の影響に加え、既存事業拡大のための人的投資等により販管費が増加
- 営業利益は2,334百万円(+14.1%)、経常利益は2,251百万円(+15.0%)と増益
四半期純利益は7百万円と微減

※連結納税移行に伴い対象子会社が決算期を3月から5月に変更。一部子会社が11ヶ月の変則決算

1. 第3四半期(累計)連結業績 (2014年6月1日~2015年2月28日)

(百万円)

	2014年5月期	2015年5月期	増減	増減率
売上高	154,939	169,185	+14,246	+9.2%
売上総利益 (売上比)	29,544 19.1%	33,781 20.0%	+4,236 +0.9pt	+14.3%
販売費及び一般管理費 (売上比)	27,497 17.7%	31,446 18.6%	+3,948 +0.9pt	+14.4%
営業利益 (売上比)	2,046 1.3%	2,334 1.4%	+287 +0.1pt	+14.1%
経常利益 (売上比)	1,957 1.3%	2,251 1.3%	+294 +0.0pt	+15.0%
税金等調整前四半期純利益 (売上比)	1,908 1.2%	2,226 1.3%	+317 +0.1pt	+16.7%
四半期純利益 (売上比)	12 0.0%	7 0.0%	△4 △0.0pt	△37.2%
1株当たり四半期純利益	0円33銭	0円21銭	△12銭	△36.4%

2. セグメント別連結業績 (セグメント間取引消去前)

(百万円)

	売上高	前年同期比	営業損益	前年同期比
HRソリューション	166,491	+8.7%	5,373	+11.6%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負)他	144,551	+10.8%	2,965	+53.2%
エキスパートサービス(人材派遣)	99,719	+7.7%	2,965	+53.2%
インソーシング(委託・請負)	33,490	+13.4%		
HRコンサルティング、教育・研修他	4,118	+25.1%		
プレース&サーチ(人材紹介)	3,739	+57.9%		
グローバルソーシング(海外人材サービス)	3,483	+27.4%		
アウトプレースメント(再就職支援)	6,439	△19.6%	172	△79.4%
アウトソーシング	15,500	+5.3%	2,235	+9.3%
ライフソリューション パブリックソリューション シェアード	4,147	+4.2%	△46	—
消去又は全社	△1,453	—	△2,992	—
合計	169,185	+9.2%	2,334	+14.1%

HRソリューション

エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)他

売上高 144,551 百万円(+10.8%) 営業利益 2,965 百万円(+53.2%)

〔エキスパートサービス〕

売上高 99,719 百万円(+7.7%)

- 幅広い業界において人材ニーズは増加したものの、職種別需要は濃淡があり、一般事務の回復は緩やかな一方で専門人材の需要は強い状況が続く
- 経理、貿易、法務など専門性の高い求人の増加に対応するため、外部パートナーとの連携や、教育・研修によってスキル向上や資格取得を支援する育成型派遣に注力
- (株)パソナメディカル(旧メディカルアソシア)の寄与もあり、職種別ではテクニカル分野が大幅に伸長。クラリカルやITエンジニアリング分野も堅調に推移
- 2015年3月に住友商事(株)の100%子会社である住商アドミサービス(株)の派遣事業を(株)パソナが譲り受け、キャプラン(株)と共に貿易事務のシェア拡大を図る

〔インソーシング〕

売上高 33,490 百万円(+13.4%)

- 民間企業では、コスト削減や経営効率化などの導入効果が評価され、顧客内で他部署への横展開が進む。実績の増加に伴い、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)等の外部人材活用が日本企業にも浸透し、新規顧客も増加
- パブリック分野においては、豊富な実績と高品質なサービスが評価され、女性の活躍推進、海外進出支援、介護人材育成など政府の成長戦略に基づく案件の増加も追い風。自治体の行政事務代行の受託も大幅に増加
- 2015年4月に総務業務アウトソーシング事業を展開するパソナ・パナソニックビジネスサービス(株)[※]を子会社化
※旧 パナソニックビジネスサービス(株)

〔HRコンサルティング、教育・研修他〕

売上高 4,118 百万円(+25.1%)

- グローバル化の進展に加え、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う訪日外国人増加に対応するため、「おもてなし研修」や外国語を使用する接客研修などの需要高まる。国内外のグループ会社と連携した提案営業も奏功し、キャプラン(株)が運営する「Jプレゼンスアカデミー」での教育・研修が拡大
- キャプランが導入・コンサルティングを実施しているタレントマネジメントシステム(サクセスファクターズ)[※]も、グループ会社や外部パートナーと連携した顧客開拓によって新規導入企業が増加したほか、既存顧客においても対象者や利用メニューが広がる
※従業員スキル・経験等の可視化と評価の一元管理を可能にして、企業の人材活用・育成を支援するSAPグループの人材管理システム

〔プレース&サーチ(人材紹介)〕

売上高 3,739 百万円(+57.9%)

- 企業からの活発な求人の持続や募集戦略の奏功により、成約数は順調に推移
- 従来からのボリュームゾーンである20~30代の年齢層に加えて、マネージャーやマネジメントクラスの多い40~50代の成約も売上拡大に寄与
- 女性管理職比率の向上を目指す企業からの求人増加に伴い、女性の転職に特化したチームの発足やイベント開催など様々な施策を行ったことで、女性の成約数も増加

〔グローバルソーシング(海外人材サービス)〕

売上高 3,483 百万円(+27.4%)

- 北米やASEANで日系企業の人材需要が堅調であることに加え、海外拠点の体制整備やサービス拡張が順調に進んだことにより、人材派遣、人材紹介、アウトソーシングの全カテゴリーで増収
- 人材派遣は台湾や北米を中心に、12月など顧客の繁忙期等もあって稼働者数が増加
- 人材紹介は北米、中国のほか、シンガポール、タイなど新しい拠点でも成約数が増加。成約単価の上昇やエグゼクティブサーチ案件の増加も寄与
- アウトソーシングは給与計算代行のほか、教育・研修、採用代行、現地法人設立に関するコンサルティング、ビザ取得支援など新サービスの顧客も増加
- インドネシアにおいて、2015年5月に現地の人材サービス会社「PT Dutagriya Sarana(デュータグリヤ サラナ)」を子会社化する予定

以上の結果、当セグメントの売上高は増収。粗利率向上もあって売上総利益が増加し、M&Aや変則決算の影響で販管費が増加したものの、営業利益は大幅な増益

アウトプレースメント(再就職支援) 売上高 6,439 百万円(△19.6%) 営業利益 172 百万円(△79.4%)

- 景気改善により企業の雇用調整が大幅に減少し、受注の低下や案件規模の小型化が継続
- 新規求人開拓に注力すると共に、能力開発やキャリアカウンセリングを強化し、再就職決定の早期化を進める
- コスト面ではコンサルタント数や拠点の最適化に努めたが、大幅な減益

アウトソーシング 売上高 15,500 百万円(+5.3%) 営業利益 2,235 百万円 (+9.3%)

- 主力の福利厚生事業は提案営業を積極的に行い、中堅・中小企業の開拓にも注力した結果、会員数は堅調に推移
- 取引先と協働で個人顧客向けサービスを展開するパーソナル事業においても会員が順調に増加
- 報奨金等をポイント化して管理・運営するインセンティブ事業も新規顧客獲得が好調に推移

ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 4,147 百万円(+4.2%) 営業損失 46 百万円(前年同期は営業利益 58 百万円)

- ライフソリューションは、保育関連事業を展開する(株)パソナフォスターで政府の待機児童減少や女性活躍推進に向けた施策も追い風となって大型保育施設の受託が増加
- 利益面では新規事業の先行投資等により、営業損失

消去又は全社 売上高 △1,453 百万円 営業利益 △2,992 百万円

- グループ間取引と持株会社(株)パソナグループの販管費を含む

3. 財政の状況

(百万円)

	2014年5月期 期末	2015年5月期 3Q末	前期末比		増減要因
			増減	増減率	
流動資産	48,545	49,294	+748	+1.5%	現預金の減少 3,254 百万円、受取手形及び売掛金の増加 3,167 百万円、前払費用の増加 545 百万円、投資有価証券の増加 330 百万円等
固定資産	27,069	27,324	+254	+0.9%	
資産合計	75,615	76,618	+1,002	+1.3%	
流動負債	36,967	38,572	+1,604	+4.3%	前受金の増加 923 百万円等
固定負債	11,467	10,710	△757	△6.6%	
負債合計	48,434	49,282	+847	+1.8%	
純資産合計	27,181	27,336	+155	+0.6%	四半期純利益 7 百万円、配当金の支払 374 百万円、為替換算調整勘定の増加 221 百万円、少数株主持分の増加 358 百万円等
自己資本比率	27.9%	27.3%	△0.6pt		

4. 2015年5月期(2014年6月1日～2015年5月31日) 連結業績予想

足元の状況については、企業の人材需要が堅調に推移していることから、2014年7月11日に公表した通期連結業績予想に変更はありません。

四半期ごとの連結業績、セグメント別業績データは <http://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載しています。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。